

神奈川県協同組合連絡協議会

かながわC☺-ネット会員組織 御中

2022年10月24日

全国漁業協同組合学校&JAかながわ西湘 ~現地視察研修を開催~

JAかながわ西湘は9月29日に千葉県にある漁協職員を養成する全国漁業協同組合学校の学生8人の視察研修を受け入れました。

当視察研修は、全国漁業協同組合学校の学生が漁協以外の協同組合を学ぶため、校外学習の一環として今回初めて実施したものです。

当日は、天野代表理事組合長のあいさつの後、組織広報課岩本課長よりJAかながわ西湘の概要や取り組み、地域における役割等を説明。参加した学生からは、JAかながわ西湘の強み、農産物ブランド化の価格効果、自然災害の対処、輸入農産物増加の影響、生協等との連携など全員から質問があり、熱心に聴講していました。

その後、同JAの農産物直売所「朝ドレファ〜ミ♪」成田店も見学し、農産物だけでなく、地元漁港と連携した鮮魚や水産加工品の販売状況などの説明を受け、地産地消の発信拠点としての意味について学びました。

また、翌日は小田原市漁協が、定置網船の乗船や同漁協の施設見学など、視察研修を受け入れています。



天野代表理事組合長 あいさつ



JAかながわ西湘にて、参加者の集合写真



小田原市漁協の職員から漁法の説明を受ける学生



選別作業体験

参加募集

イベント・セミナー等のご案内

第9回 東日本大震災復興まつり ーともに生きよう! 2022ー

生活クラブ生活協同組合神奈川は、「被災地とともに生きる共生社会をつくる」ことや「被災地と神奈川で互いにたすけあう」ことを目的に、東日本大震災復興まつりを3年ぶりに実開催で開催します。当日は約100ブースが出展し、宮城、福島からおいしい産物などおいしいものが販売される予定ですので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

開催日時：2022年11月12日(土) 10:00~14:30(雨天決行)

開催場所：みなとみらい臨港パーク

詳細：チラシをご覧ください。

東京農業大学 総研研究会 2022年度(第15回)農協に関するシンポジウム

当協議会アドバイザーである東京農業大学 名誉教授 白石正彦氏が座長を務めている東京農業大学総合研究所研究会は、農協に関するシンポジウムを開催します。

今年度のシンポジウムは、農協活動において組合員・住民の「農的価値への共感力」の源泉と事業活動成果の好循環メカニズムをいかに進化させるかをテーマに開催され、本県からJAはだの代表理事組合長 宮永 均氏が基調報告を行います。ご興味のある方はぜひご参加ください。

開催日時：2022年11月11日(金) 13:00~17:00

開催場所：東京農業大学世田谷キャンパス4階441教室(オンライン併用開催)

詳細：[チラシ](#)をご覧ください。

生協総研 2022年度第6回公開研究会 フランスとデンマークの協同思想から学ぶ ～シャルル・フーリエ生誕250年とN. F. S. グロンヴィ没後150年を記念して～

生協総合研究所は、フランス人のシャルル・フーリエ(1772-1837)の生誕250年とデンマークのN. F. S. グロンヴィ(1783-1872)の没後150年を記念して公開研究会を開催します。記念すべき周年となった兩人を取り上げるとともに、関連する国々の協同組合運動について紹介、解説され、当協議会のアドバイザーである東京農業大学 名誉教授 白石正彦氏の講演もありますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

開催日時：2022年12月8日(木) 14:00~16:30(配信開始13:30)

開催場所：主婦会館プラザエフ5階会議室(オンライン併用開催)

詳細：下記URLあるいはQRコードよりご覧ください。

https://ccij.jp/activity/annai220926_01.html



生協総合研究所
第6回公開研究会

<担当事務局連絡先>

J A神奈川県中央会 総務企画部(担当：田代・杉本) TEL045-680-3001 sou-ki@chu.kn-ja.or.jp

神奈川県生活協同組合連合会(担当：相田) TEL 045-473-1031 Yuji.Aida@ucoop.or.jp

つながりは絶やさない
神まし合いながら
ともに生きる未来をつくらう



第9回

東日本大震災

復興まつり

—ともに生きよう! 2022—

被災地と神奈川でたすけあう関係をつくる

東日本大震災から11年が経ちました。生活クラブは、復興支援はもちろん、被災地とともに生きる関係づくりを築いていきます。3年ぶり実参加にて復興まつりを開催します。宮城、福島から美味しい物産とともに、人々が集います。交流し、つながりを深め、復興と共生社会に向けたメッセージを横浜の地から発信しましょう。

出展団体の売り上げの一部は被災地支援に使われます。

※コロナ感染症の状況により企画変更の可能性があります。
必ず下記二次元コードで最新情報をご確認ください。

日時
2022

11月12日(土)

10:00~14:30雨天決行

場所

みなとみらい臨港パーク

横浜市西区みなとみらい1-1-1

JR桜木町駅から徒歩12分、みなとみらい線みなとみらい駅から徒歩7分

ご家庭の余剰食品の寄付
およびマイ箸・エコバックの
持参にご協力ください



主催：生活クラブ生活協同組合神奈川

お問い合わせ

東日本大震災・復興まつり実行委員会

(生活クラブ生活協同組合神奈川 政策調整部)

045-474-0985



共催：東日本大震災・復興まつり実行委員会

(構成団体: 神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会、認定NPO法人WE21ジャパン、社会福祉法人いきいき福祉会、神奈川ネットワーク運動、認定NPO法人地球の木、公益財団法人共生地域創造財団、生活クラブ親生会、さんえすクラブ、福祉クラブ生協、横浜北生活クラブ生協、横浜みなみ生活クラブ生協、かわさき生活クラブ生協、湘南生活クラブ生協、さがみ生活クラブ生協)

後援：神奈川県、岩手県、横浜市、川崎市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、相模原市、海老名市、秦野市、秋田県にかほ市、山形県遊佐町、神奈川県生活協同組合連合会、河北新報社、神奈川新聞社、tvk、FMヨコハマ、生活クラブ連合会、生活クラブ生協ふくしま、(株)川崎フロンターレ(順不同)



東日本大震災復興まつり

「被災地とともに生きる共生社会をつくる」
「被災地と神奈川で互いにたすけあう」

約100ブースが出展します。
産物や模擬店など美味しいもの
いっぱい販売(予定)

食べよう!



遊ぼう!



被災地パネル展示

震災から11年が経った今、被災地支援団体の活動と被災地の今を写真でお伝えします。

フードドライブ

「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品をご提供いただき、食べ物に困窮する家庭や施設に届ける運動です。お米・麺類・缶詰・お菓子など、ぜひお持ち寄りください。

ステージイベント



Always With Smile

東日本大震災を機に、ゴスペラーズの北山陽一さんが発起人となり設立したアカペラ団体。関東に住む学生や社会人を中心に、歌うことを通じて被災地の人々との交流を深めるなど、様々な活動を行っている。



和太鼓昇龍

横浜市で活動している太鼓グループ。横浜市の子どもたちが一緒に太鼓を演奏することで社会参加の経験を積むとともに、さまざまなお祭りに参加し、人々との新しい関係づくりに取り組んでいます。2003年度キララ賞受賞



スタジオ◎きのこ

神奈川県の横須賀市で活動するダンスグループ。神奈川県内のダウン症・自閉症といった障がいのある人と一緒にダンスや音楽など色々な表現活動を楽しむことをモットーに活動しています。2019年度キララ賞受賞



わかめまき(子ども企画)

2019年度の復興支援まつりで大好評だった企画、餅まきならぬ「わかめまき」。東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた重茂漁協にご協力いただき、三陸のきれいな海で育ったおいしくて安心のわかめを、復興への想いとともに皆さんに届けます。(今年度は子ども企画となります)

コロナ感染状況によって企画変更の可能性があります。生活クラブHPをご確認ください。

協賛団体募集中!

協賛 (8月26日現在)

生活クラブ親生会、一般社団法人グリーンファント秋田、いきいき福祉会、オルタサークル、オルタスクエア(株)、ハマ冷蔵工業(株)、神奈川県農業協同組合中央会、共生食品(株)、(株)利川牧園、W.Coたすけあい磯子、(企)エコアド、協同組合事務局W.Co Jam、(株)オルタフーズ、(株)エコグリーン、(株)互光商会、(株)ウエルライフ、(株)浜食、NPO法人WE21ジャパンつるみ、(資)杉勇藤岡酒造場、遊佐町共同開発米部会、(一社)川崎地方自治研究センター、神奈川県生活協同組合連合会、(株)佐藤印刷所、武松商事(株)、(公社)神奈川県地方自治研究センター、W.Coデポット・せやプランチ、NPO法人 参加型システム研究所、川崎医療生活協同組合、NPO法人W.Coあい、生活クラブ生活協同組合東京、神奈川県労働者福祉協議会、生活クラブ生活協同組合静岡、NPO法人W.Coグループとも、NPO法人 W.Coキャンディ、共済W.Coスマイル、(有)カワグチ企画、W.Co Enjoy、NPO法人W.Coういす、(株)カジノヤ、NPO法人 W.Coたすけあい戸塚、NPO法人 W.Coたすけあいせや、NPO法人W.Coくれよん、NPO法人W.Coふれあい都筑、NPO法人 W.Coこむのき ティサービス カナンの家、NPO法人W.Coこもれび、NPO法人W.Coキャリアジョイ、認定NPO法人WE21ジャパン海老名、くらサポートW.Co Lavori、福祉クラブ生活協同組合、ライサポートW.Coむすび、(株)泰山食品商行、生活クラブ農産物協議会、NPO法人W.Co/レット、NPO法人W.Coたすけあい栄、健康・医療推進協議会、W.Coゴジマ、横浜西部福祉ユニット、W.Coくっくおなほ、NPO法人W.Coのぞみ、コミュニティ・オブティマム福祉マネージメントユニットかながわ、認定NPO法人WE21ジャパン、市民自治をめざす神奈川の会、認定NPO法人WE21ジャパンかながわ、神奈川県漁業協同組合連合会、W.Co ACT、(一社)市民セクター政策機構、W.Co円、JA上伊那、NPO法人フーカース・コレクティブ協会、NPO法人 フォーラム・アソシエ、こくみん共済coop神奈川推進部、NPO法人 川崎市民石けんプラント、認定NPO法人W.Coまいそら、NPO法人W.Coあいあい、W.Co 森のはらっぱ、W.Coデポット 緑園プランチ、W.Coあるあい、港南たすけあい心、W.Coあんず、女性市民コミュニティバンク、生活クラブ生活協同組合 群馬、(株)平田牧場 高崎事業所、栃木県開拓農協、生活クラブ生活協同組合 青森、神奈川ネットワーク運動、神奈川ネットワーク運動とつか、神奈川ネットワーク運動あさお、神奈川ネットワーク運動宮前、幸市民ネット、神奈川ネットワーク運動 鎌倉、神奈川ネットワーク運動 藤沢、神奈川ネットワーク運動 大和市市民会議、神奈川ネットワーク運動 海老名、神奈川ネットワーク運動 座間市民ネット、横浜北生活クラブ生活協同組合わかば commons、あおぼ commons、みどり commons、つづき commons、港北 commons、菊名 commons、つるみ commons、つづしが丘デポ、霧が丘デポ、市が尾デポ、大丸デポ、つなしまデポ、東寺尾デポ、センター南デポ、横浜みなみ生活クラブ生活協同組合理事会、旭北 commons、旭南 commons、瀬谷 commons、保土ヶ谷/西 commons、神奈川 commons、中 commons、泉 commons、港南 commons、金沢 commons、戸塚 commons、栄 commons、南 commons、磯子 commons、せやデポ、日隈山デポ、東戸塚デポ、ほんもくデポ、緑園デポ、かわさき生活クラブ生活協同組合、たま commons、あさお東 commons、あさお西 commons、高津 commons、宮前 commons、中原 commons、幸 commons、かわさき commons、たかつデポ、湘南生活クラブ生活協同組合、鎌倉 commons、逗楽 commons、よこすか commons、藤沢北 commons、湘南ふじさわ commons、commonsひらつか、commonsながくん、城下町 commons、commonsはだの、commons足柄、ちがさきデポ、らいつうんデポ、鎌倉デポ、ひらつか西海岸デポ、さがみ生活クラブ生活協同組合 理事会有志、厚木 commons、海老名 commons、伊勢原 commons、緑がみはら commons、座間 commons

2022年10月4日

東京農業大学
総合研究所研究会

2022年度（第15回）農協に関するシンポジウム

1. 開催日時：2022年11月11日（金）13:00～17:00
2. 会場：東京農業大学世田谷キャンパス4階441教室
＋オンライン（zoom）のハイブリット形式
3. 主催団体：東京農業大学 総合研究所 農業協同組合研究部会

4. シンポジウムのテーマ

農協活動において組合員・住民の「農的価値への共感力」の源泉と事業活動成果の好循環メカニズムをいかに進化させるか

5. 開催趣旨・ねらい

本シンポジウムには3つのねらいがあります。

第1に、家族農業経営・農業法人組織・半農半Xなどの多様な農業経営は、ロシアのウクライナ侵攻による世界的な物価高騰、地球温暖化による気象変動の激化、サイバー空間と現実世界でのDXの普及、食農システムでの国消国産の動向など客観的条件の大転換に直面しています。こうした大転換に対して組合員が主人公である農協活動は、変えてはならない協同組合の特性を堅持しつつ、農協の組織・事業・経営のイノベーションを先導する必要があります。

このため、第1報告では農協活動において、「農的価値への共感力」をふまえた“多様な農業経営力”、“組合員組織力”、“事業経営機能発揮力”の新総合力発揮を展望します。

第2報告では、神奈川県秦野市農協における自治体と連携した教育研修・広報の取り組みから多様な農業者と農的暮らしを求める都市住民との「農的価値への共感力」を明らかにします。

第3報告では、茨城県水郷つくば農協による「農的価値への共感力」をふまえたネットワーク型マネジメントの取り組みからブランド農産品産地における多様な農家・農業法人への農協による支援を明らかにします。

以上の報告に続き、3名の最先端の研究者による各報告へコメントを頂きます。全体討論においては、参加者の皆様とともに農協の組合員・住民の共感力と事業活動成果の好循環メカニズムを目指して、農協活動における「多様な農業経営力」「組合員組織力」「事業経営機能発揮力」をいかにつなぐかの論議を深めたいと考えます。

6. プログラム

1) 開会

2) 開会挨拶：学長ビデオメッセージ 13:00～13:05

3) 開催のねらい 座長：白石正彦（総研農業協同組合研究部会長） 13:05～13:10

4) 基調報告

第1報告 13:10～13:40

タイトル：農協活動において、「農的価値への共感力」をふまえた“多様な農業経営力”、“組合員組織力”、“事業経営機能発揮力”の新総合力発揮を展望

報告者：白石正彦（本学名誉教授、総研農業協同組合研究部会長）・野口敬夫（本学准教授・日本協同組合学会常任理事）・菊地哲夫（本学前教授・総研農業協同組合研究部会員）・高梨子文恵（本学准教授）・原温久（本学准教授）・望月洋孝（本学准教授）

第2報告 13:40～14:20

タイトル：多様な農業者と農的暮らしを求める都市住民との「農的価値への共感力」～秦野市農協における自治体と連携した教育研修・広報の取り組みから～

報告者：代表理事組合長 宮永均（神奈川県秦野市農協）

<休憩> 14:20～14:30

第3報告 14:30～15:10

タイトル：ブランド農産品産地における多様な農家・農業法人への農協による支援～水郷つくば農協による「農的価値への共感力」をふまえたネットワーク型マネジメントの取り組みから～

報告者：代表理事組合長 池田正（茨城県水郷つくば農協）

5) コメント 15:10～15:50

(1) 谷口信和（東京大学名誉教授）、(2) 小林元（日本協同組合連携機構(JCA)部長）
(3) 堀部篤（東京農業大学教授・農協研究部会幹事）

6) 全体討論 15:50～16:50

7) シンポ総括と閉会の挨拶：菊地哲夫（東京農業大学前教授） 16:50～17:00

7. 本シンポジウム実行委員会事務局、問い合わせ先

本シンポジウムについての問い合わせは、以下の実行委員会事務局までお願いいたします。

E-mail: 菊地哲夫：kumataga6584@yahoo.co.jp（cc: 白石正彦：shirais@nodai.ac.jp）

8. 本シンポジウムへの参加申込先

シンポの参加につきましては、下記 URL (Forms) からお申込みください。

<https://forms.office.com/r/pXmXFNpQUB> 申込締切日：10月31日（月）17:00

*ご参加者される方には、ZOOMのURL、報告資料の情報を開催数日前にご連絡致します。

以上